THE WOMAN'S WEEKLY
第四巻第八號
大正七年二月廿二日發行
（毎週發行日金曜）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□禮儀のない國……時事週評……小橋三四子
□忘られたる社會の一角に起たん……安井哲子
□傾聽すべき言葉……愛城生
□食糧研究「オートミール」……某醫師
□私の受けた感化「若き人格者大西祝博士」……大西絹子
□生活難に呪はれし人々……佳子
□讀者から……新刊紹介
□女學校印象記「普連土女學校」……記者
□學齡兒童と家庭の注意……土川五郎
□節句の手細工……大妻コタカ
□桃の節句に因む會席料理……久野連峯
□露店のぞき……記者
□オハナシ「青い花の國」……宮本幾美子
□熊の親子……記者
□小說「手紙」……渡邊たみ子
□時事……編輯室から

定價一部四錢五厘 郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

見ざめのせぬお髪ぶり

いつ見ても若々しく、そして見ざめのせぬお髪上の方は皆様千代田香油の愛用者でいらつしやいます。ですから束髪にも日本髪にもおぐし上げの際千代田香油ばかりはなくてはならぬと髪ゆひさんが皆申します

いつもお若く水々とした黒髪は

千代田香油

愛用者のほこり

かほりよき

千代田ポマード　千代田くせ直シ

本舗　東京日本橋馬喰町四　山岸三之助　電話浪花三七九三番 振替東京二〇五〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禮儀のない國

□淋しい母國

或る人格者が「年々に自分を理解してくれる人が少くなつて、淋しさを覺える、さうなると何時も外國に行き度いと思ふ」との嘆聲を洩らされました。外國に却つて我が知己が多くて、母國に其の理解者が尠いとは、一寸異樣のやうでありますが、人は野蠻人より半開人の方が交際し易く、半開人より文明人の方が更らに心地よいのは、申す迄もありませぬ。維新後五十年に、世界の文明を速成に學んだ日本の社會は、人間の根底から革まつて、自然に文華の咲き出でた趣はありませぬ。

□自然に生まるゝ禮儀

殊に社會を見渡して最も感ずるのは、至る所疎雜な感情が漲つて居る事であります。それ故二人以上集まれば、忽ち我意を逞うして、爭鬪を生じ、男女が一緒に集まれば、見るに堪へない亂れた狀態に陷ります。敢へて儀禮を尊ぶ意味ではなくても、相手の感情を汲み分ける丈けの謙讓な心を持ち、人が自然に持つ純潔纖細な心情を傷けない程の愼み、云ひ換えれば自然から生れた禮儀があつたならば、朋友と云はず男女の間も、開放して尚ほ一種の別を保つて、紳士淑女の間なりとも、住みよい社會が出來るであらうにと思はれます。

□大きな侮辱を感ず

私は或る職業に就いて、多くの男子の方々と一緒に働らいた事があります。初めて其の境遇に置かれた節、周圍から聞えて來る人々の會話は、云ふまじき事を平氣で取扱つて居るのを見て、大きな侮辱を感じた自分は、奮然として席を起ちたくなりました。然し彼れ等には、もしさういう態度を自分がとつても、どういふ意味か解らぬであらうと考へる程、其の感情の痲痺して居るのを見出しました。漸く其の場所に馴るゝに從つて、其の境遇に親しみを感じた時、慄然として我れを省みて驚きと痛みの念を感ぜずには居られませんでした。自分も亦知らず識らず神經が荒んで行つたのではなからうかと。そして社會の禮儀の向上せぬ限りは、わが妹ならばかういふ境遇に置かせ度くないと感ずるのでした。

□虚禮に非ず

歐米では人の年を問ふたり、頸から下の話をしたりする事はこの上ない失禮な事としてあるのを聞いて、日本の人々は虚禮のやうにも思ふでありませう。然しそれは、纖細な感情を持つ人が、自然に喜ばぬ處であります。或る小學校を參觀した時に、教師が兒童等の前に、「惚れこんで」だの「やきもちをやいて」だのといふ言葉を平氣で使つて居るのを見て、調子の外れた樂器に、耳を掩つて行くやうな、雪のやうな純潔な心情に、汚點をつけて行くやうな、この上ない不快の念を覺えました。しかも、學校と云はず、家庭に歸つても、雜誌を手にしても、兒童の軟かい心に傷手を負はすやうな言葉を隨所に見出すことは、決して稀らしからぬのであります。

□取扱の態度

まだ羞恥の念に富める筈の若—

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い婦人等が、處と人をも撰ばずに、愼むべき事を大膽に語るのを見て、眞に日本の文明は却つて人を荒ませるのではないかと忌いしく思はれます。性的の事を或る文明評論家が、赤裸々に書き現はして居るのなども、實際にどうしても云はなければならぬ必要があつて云つて居るのか、もしくは思想界の流行に乘じて書きたてたのか、或は讀者の好奇心を釣らうと書いたものであるかを探ねて見て、多くは其の底に執筆者の不眞面目さを感じない事は尠うございます。ゾラの自然主義が、同じ暗黒面を描いても、其の根底に抑ゆべからざる憂慮を抱き・一種の慷慨の念が横はつて、居るのを感じ、これを讀む人々は、必ず嚴肅の問題を受取でありませう。さういふやうに或る事柄を取扱ふにも、其の態度によつて大きな相違を生ずるのであります。性的問題の如き、嚴肅と口には云ひながらも、なほ嚴肅さを感じさせぬやうな書き方をするなら寧ろ云はぬが勝つて居ります。

口正しい心情の教育から

古來「禮儀の國」と云はるゝ日本には、煩らはしい程禮儀の形式は定められてあります。然し今日の禮儀には純な感情、高い人格から生れた自然の律度でありたいのです。己れの欲せざる事は人に施さず、己れの欲する處は人に施してなほ美はしい調子が社會に生れてくるやうに望みたいのです。其の爲めには先づ心情を正しく淸く養はなくてはなりませぬ。幼稚園や小學校に、壞れかけたピヤノやオルガンを備へて置くことは、どんなに幼兒に正しい耳を養ふ上に害になりませうか。家の床の間や壁に、卑しい繪を平氣で掲げて置くことが、どんなに眼を低くしませうか、更らに手にする雜誌や聞く話や親や朋友周圍の人々の風儀が、どんなに兒童を害つて居りませうか。舊教に或る一派の教育者は、兒童を十二歳位迄、汚れない自然の中に育てれば、成人の後頽落することはないと申して居るさうですが、幼兒の感情は、人の生涯の故郷であつて、いかに放浪してもその故郷は忘れかねて立ち歸りくる程の力を持つて居ります。そして正しく育てた其の當時の心情が生ひ立つて、社會に一つの禮儀が出來た時、初めて文明國の名に背かぬ美しい國風を成すに至るでありませう。(三四子)

時事週評

口不信任案否決

新税增税の政府案を否決した議會は、憲政會から提出した「現政府は千載一遇の時局を托するに足らず」との政府不信任案を大多數を以て否決しました。現議會が危急の時局を鑑みて、徒らに黨派爭ひ、權力爭ひに走らず、擧國一致、愼重に問題に就て批判し、賛否を決する態度の見えるのは、嬉しいことです。

口日本の危機迫る

露西亞が獨墺との鬪意を絶ち其の俘虜約十五萬を追放したことは、日本の爲めに、大きな危險を抱いた事は申す迄もありませぬ。彼れ等追放された人々は西比利亞・波斯迄も入り込んで何事を企てるかも解りませぬ。この危機を目前に横へた我が國民は、せめて精神丈けもつと緊張してありたいものです。

口押川長官の自殺

製鐵所長押川則吉氏の自殺は、原因なほ明らかではありませぬが、一丈夫を自殺の窮境に陷れた大なる事情が伏在して居る事は申す迄もありませぬ。しかもこは社會國家を憂ふる憤死悶死の類ではなくて人から負はされた罪惡を蒙る爲めであつたとすれば一層氣の毒であります。誘惑の多い事業界に在る者は朝夕に反省しなければ、必ず同じ魔道に誘はれて行くに違ひありませぬ。徳義心は決して文明に逆つた迂遠な道ではないのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

忘られたる社會の一角に起たん

新女子大學設立の趣意

安井哲子

□二種の高等教育

高等教育を受くるといふ事はどういふ目的かと云へば、根本に於て凡そ二種類に分れると思ひます。其の一つは短日月に智識を畜へて、社會に直ぐ間に合ふ資格を養ふこと、女ならば凡そ二十一歳位を婚期とすると前提して、其の時期を遲らさぬ程に手取り早く進歩的の教育を授け、家庭を持つて其の智識を直ちに實地に應用して行ける方面に重きを置くこと、所謂實用主義のものと、他は學校生活から、一種の氣分を受取り、人格の基礎を作り、高遠な理想を養つて、現在に止まらず、永遠を眼ざして犧牲的の働らきを續くるに堪ゆる紳士淑女を養ふを以て目的とすることゝ、この二つであります。

□大學生活の感化

英國のケンブリッヂやオックスォードは、只大學に在つたといふ其の生活が、授けられる智識や技能よりも、一層深い感化を與へて、人格に一種名狀し難い氣品を添へて居ります。かうなると、其の大學生活は長い程、よい薫陶を受ける事になります。これ等の學校の豫備學校ともいふべきイートンやハーローでは、學生がシルクハットを冠つて體操をするといふ事は、滑稽なやうではありますが、これによつて紳士風の氣分を養ふ事は、決して見逃がす事は出來ません。かの「トム、ブラウンス、スクール、デイス」の名著に描かれて居るやうにさま〴〵の蠻風はあつても、要するにこの時代は樂しい學生生活の思ひ出を作り、人格の搖籃教育となつて居るのが、其の一貫した特色であります。既に英國のやうに、グラッドストーンの如き大政治家や其の他の文豪、名士が、多くはケンブリッヂ、オックスォードを母校に持ち、またそれを矜りとするに至つては、人格主義の教育が決して机上の空論ではなく、實社會にも亦大なる貢献を爲すに足るといふ事が證據立てられるのであります。

□遠い目的をさして

英國に於ても、近時幾多の新大學は、時勢の要求に從つて、捷速の教育を授けて居ると申します。我が日本に於て、今日人格本位の高等教育を授くると云へば、或は迂遠の誚りを免がれぬとも限りません。さればと云つて滔々時勢の赴くが儘に、間に合せ主義の教育をして居つたならば、五十年、百年後の日本はどうなりませうか、いかに國は富み、文華は開けても、根底は朽ちて、遂に覆へらぬとも限りませぬ。たとへいかなる批難攻撃に遇はうとも、不撓不屈の精神を以て、遠い目的に進み得る同志が、少數でも、堅固に結束して、其の理想を實現して、やがて社會の理解を得るより外に道がないと思はれます。

□昔の私塾は理想的

三

勿論二人以上の者が集つて、事を成す場合には、わが全人を遺憾なく發揮して行くことは、不可能の事かも知れません。其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の意味で教育も昔のやうに吉田松陰とか佐久間象山とかいふ一私人の門下に、薫陶を授けたことが、却つて理想的でありましたでせう。然し時勢はそれを許しませんが、私共の創立する東京女子大學の如き、出來得るならば個人個人の教育の責任を負ひ切れぬ程の多數の生徒を集めることは、避けたいと思ひます。そして少數のよい種子が、最初の校風を作つて行くことが出來たら、どんなに仕合せだらうと思はれます。

□多忙過ぎる都會生活

元來今日の都會生活は、餘り多忙過ぎる爲めでもありませうか、教育と云はず、凡ての事に、人々は負ひ切れぬ責任を帶びてわが人格を發揮する暇もなく、終に心にもなく、世の餌となつて終ふ事が屢々あります。これは文明の餘弊とでも申しませうか、大に反省しなければならぬ事と思はれます。押川長官の自殺を聞いて、其の原因はなほ明らかに發表せられないので、どんな事情が伏在するかは知りませぬが、兎に角長官の人格、才能は密の如く多數周圍から吸はれて終つて、いつしか其の精神を失ひ、自覺した瞬間に、身動きもならぬ程の責任を感じて、遂に自殺の止むなきに至つたのではなからうかと、實に氣の毒の感に堪へません。同時に社會に一種の警告を與へて居る事を思はずには居られません。教育の如きは、時局の切迫によつて、拙速も必要でありませうが、それよりも更に大切な未來の基礎を築く心掛けがなかつたら、人にして、人の魂を失つた人間の續出となり、遂に國家的自殺の止むを得ぬ事に終りませう。

□私共の衷心の願ひ

私の如きも、いかに不敏であつても、どうしたならば、現時の日本に適應し、學校の繁榮を圖ることが出來るか位は、解つて居ります。然し國家の前途を憂ふる以上は、目前の小成に安んずる事はどうしても許さぬ處であります。同志社が新島襄氏の如き人格者を其の祖に戴きながら、歿後五十年ならずして、其の校風に動搖を來す如きは、いかに滔々と押し寄する時勢の波の大きいかを思はずには居られません。然し私共の抱く主義を投げ捨てゝは、何を苦しんで私立學校を經營する必要がありませうか。官立學校が一種の官界の束縛を受けつゝも、教師は全國から易々として立派な人を寄せ集めることが出來る特權を充分に持つて居ます。また單に現代に喜ばれる教育を、施さうとならば、其の機關も決して尠くはありますまい。只其に忘られたる大切な一角に起つて、私共の微力の限りを盡して、國家、社會に貢獻したいと考へるのが、私共の衷心の願ひであります。而してこの希願に知己を増して行くことは、獨り私共の喜びのみならず、國家將來の福祉であらうと信ずるのであります。

四

傾聽す可き言葉(十)

愛城生

「教育は終始積極的でなければならぬ。單に惡を避けしむと云ふ事のみにては眞に價値ある人を造る事は出來ぬ。人が單に隣人に對して無害であると云ふ事は、其の人を善人となすの力が無い。「他人を自己の如く愛し」得て初めて人の人たる價値を生じ、又た善人たるの價値が生ずる。……世の所謂善人の中には其の性臆病なるが爲、乃ち臆病にして不正をなし得ざるがため、世人から「善人」と云ふ名を附せらるゝ事が往々ある。聖書に「熱からず寒むからざる者」を極度に否定しあるは、味ふ可き事である。

イー、エーナ、ゲリツケス

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

——食糧研究（五）——

オートミールの效能

某醫師

□將來の米の代用品

貴紙數回に亘つて、食糧研究を掲載せられ、食糧の改善、其の經濟等につき、一般家庭の注意を喚起せられんと務むることは、大に多とするに足る事と存じます。なほ日本の主食物たる米は玄米がよいとのお說を承りましたが、それは學理上からも確かに點頭かれる事と思ひます。然し元來米の生産高は、日本の人口に比して少いのですから、もし米を節約するとしたら、將來どういふ代用品を用意しなければならぬかといふ問題になります。私は多年の實驗上、また學理上からもオートミールを推奬致します。

□オートミールの滋養

和蘭人が忍耐強く、頭腦明晰であつて、かの海面下の低地に在る不利な地勢を占め、面積極めて狹小の國ながら、歐洲列强の間に在つて、敢へて遜色を來さぬ文明に進み得る其の能力は何處より生れて來るかと問ふた時、彼の國民の常食とするオートミールが其の原因をなすと說いた人がありました。確かにオートミールは其の分析を見ても蛋白質に富み、他の滋養素を備へて居る事は、米などの遠く及ぶ處ではありませぬ。私は多年病人にオートミールを食べさせて見ましたが、何れも良結果を得、自分も亦毎朝これを食べて居ります。

□和製のオートミール

御承知の通りオートミールは燕麥を碾割つたものであります。燕麥は日本の至る處に生じて、普通の良田に生ずれば却つて邪魔扱ひにされ、僅かに牛馬の食糧として、未開墾の地に作るのを例として居ります。北海道や樺太には、盛んに出來まして、多少碾割として人の食糧に供するやうに試みても居りますが、なほ多分は牛馬の食糧に供して居ります。和製のオートミールは値は安いが、一種の油臭みを帶びて居つて、到底舶來品には及びません。それ故現今オートミールを推奬すれば、勢ひ高價な舶來品を購はなければなりません。病人や營養の爲めならば、其の高價な舶來品でも、なほこれを食するやうにお奬めしますが、一般の食糧としては、何とか和製の製法の改良を待たなければなりません。世間の事は凡て需要によつて供給の進むものですから、一般にオートミールの效能を知つて、これを愛用するやうになれば、和製のオートミールも一大改良が施されて、舶來品に劣らぬものとなりませう。

□その炊き方

これを食用に供するには、一人一回分として、大匙三杯あれば充分です。これを强火にかけて、氣短かに煮ては、蛋白質が凝固して、其の效能を失しますから、成るべく文火で煮沸しないやうに煮るのです。朝食用としては、就寢前、殘りの火の上に鍋に入れてかけて置けば、明る朝程よく炊けて居ります。食前にこれを一寸温めて、甘味の嫌いな人は鹽をかけて食べるか好みによつては、牛乳と砂糖をかけて食べるかすれば、玄米よりは、確かに多くの人の口に合ひます。殊に乳離れの幼兒に、この粥に牛乳をかけて與へれば

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理想的の食物です。

□自然を基とする食糧

凡て肉食する人は、氣が短かく、短時間集中して仕事をする事が出來ても、直ぐ疲れて終ひます。植物性の食糧を攝る人は、忍耐力強く、連續した仕事に堪へる不斷の精力があります雪國で橇を挽かせる犬を見ても本來の肉食動物なる彼れ等は、一時は夢中になつて力を出しても、直ぐに疲れて終つて、到底草食動物の牛馬の長きに堪ゆるに比例しませぬ。人間も亦海邊で魚類を多く食べる人間は、喧嘩つぽく、菜食を主とする山間の人は、忍耐強くあります。一般に發育盛りの兒童に、魚肉や脂肪濃きものを過食させることは、人間を早熟にして、頭腦の發達を妨げます。それよりも菜食の中で、滋養素を多分に備へたものを選んで攝らせる方が、自然の發育上よろしいやうです。此の點は子女を養育する母親方の、特に留意されたい點であります。餘り大事が過ぎて、子供に肉よ魚よと御馳走を與へ過ぎると却つて思はぬ心身の障害を招くことがあります。要するに人間は極く自然と基として育つるのが、よろしいのです。

六

私の受けた感化（七）

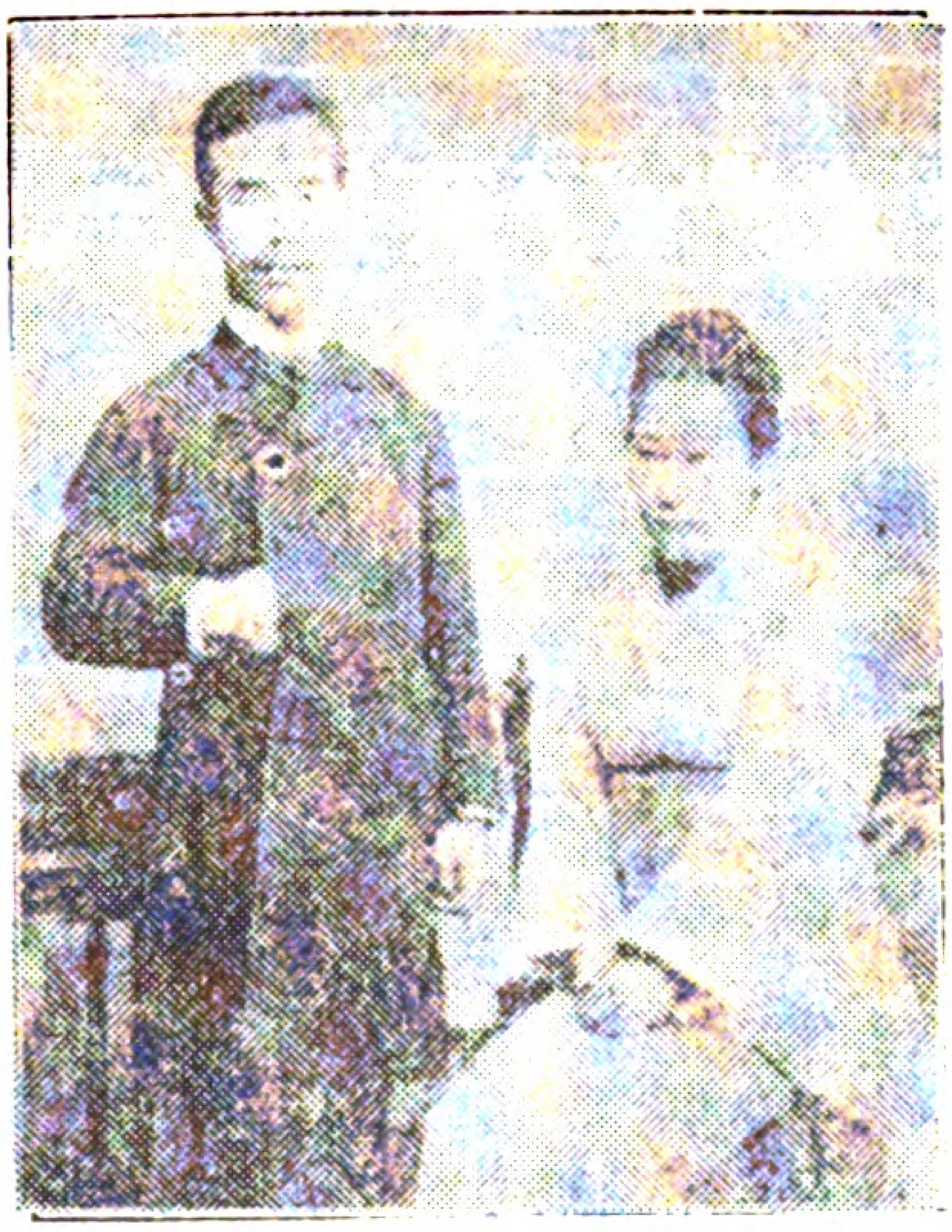
若き人格者 大西祝博士

大西絹子刀自

▲今から廿年の昔、早稻田大學文科の大立物として、文藝に坪内逍遙博士、哲學に大西祝博士があつた。シェックスピアで知られた坪内博士はもう隱退せられて、世間との交渉は斷たれた。大西博士は卅七歳の若さを以つて、今から十九年前京都の寓居に亡くなられた。前途有爲の哲學者として、若き人格者として博士の死を惜しまぬ者は無かつた。博士の遺族は今京都濱寺に、父亡き家庭をいとなんで居られる。當時七つの長女はもう女子大學を卒へられた。長男は同地の高等學校を卒へて、今年から大學の門へと進まれるのである。次の妹御もそれぐ大きくなつて、今更に亡き父君を偲ばれるのであらう。女手一つに幼き人々を相手に、雄々しく、今日迄漕ぎ來つた未亡人の、楯の強さよ、勇ましさよ。

▲濱寺のお宅へは伺へずとも、せめて故人を偲ばんと、小石川水道町の女子青年會寄宿舍に、故人の叔母君を訪ふた。叔母君は大西絹子刀自とて、數年來此寄宿舍に女生徒等の監督として居られる。『昔の事ならもう古るい話です。もう少し生きて居たならば、多少は國家にも貢獻されたでせうになど、今更思ひ出されるのです。』十九年の過去を追ふ樣に、刀自は若き哲學者の死をまざくと目前に描かれたのである。

▲『まさかあんな若さで死ぬとは思ひませんでしたので、甥が洋行中によこした繪葉書や手紙など、一つも殘してありません



新婚當時の大西祝博士と幾子夫人

平常が健康の方でしたが、あまりつめて勉強し過ぎたのでせう。腸をひどく痛めてしまつたのです。極く無口な方でしたが哲學者じみた變人とか幽鬱性とかいふ人間ではありませんでした。甥は私の兄の三男に生れたので、私の處へ養子に貰つたのですが、それも名計りでふだん一緒に居た事がありませんので、一向に細かい事は覺えて居りません。却つて同志社で一緒に居たお友達や、大學時代のお友達の方が深い親しみがある位です。』

▲『學問の爲には何物をも惜しまないといふ熱心さは、確に甥の全部でありましたと思ひます。洋行の目的も終り迄果さずに途中で歸朝したのは本人にとつていかにも殘念であつたでせう。けれども一方から考へますと、自分の健康を害したといふのは、自身の不注意であつたと云はなければなりません』天才的哲學者を甥に持つた老刀自は、彼の若死は、自身の不注意であつたと、客觀的斷案を最後に下して居られた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生活難に呪はる丶人々

――物價騰貴の細民窟――

**物價騰貴――生活難の聲は益々火の手をあげてかまびすしい。官吏が實業界へ職業替へをし、瓦斯や電燈の儉約から、銀座の町が薄暗に包まれると、云つた樣な心細そい記事が、日毎の新聞紙に現れる。まして下層社會の情景は推察のほかであらう。水害當時の勞働者は成金風を吹かせて、電車の中や銘酒屋の繩暖簾の內で札びらを切つた時代もあつたのに、彼等の賃銀はあの時の半額に成つてしまつた。仕事も降る程有るのでもなく、一方には物價は猶豫も無く騰るばかりである。寒さと飢とに泣く慘狀は、生きた悲劇として、今我々の目前に演ぜられてゐる『生活難から死』かくした三面記事はザラに讀まれる。

**本所深川の無料宿泊所を中心に、玉姫町、吉田町、三笠町の邊り、日掛八錢の三疊間に、親子が重り合つて飢に泣いて居る憐れな人達の有樣を、誰か知らう？ 彼等は着る物よりも先づ口に追はれてゐる。口に入るものは、殘飯である。それも紡績工場のひどいものである。殘飯もなほ及ばぬ時は、豆腐屋に行つて爭ふてからを買ふ。からと殘飯との混合したお粥が、即ち彼等の常食なのである。死か生か、生きねばならぬ、けれどもその方法は何を選ぶであらう。生きんとする苦しさに、彼等の裏面には忌はしい事實が作られてゐる。それは此暗い町に住む怪しい女は何物であらう。三笠町のほとりは暗い女と怪しげな宿借す家と、幾分の賃銀で客引きをする者、女の中には亭主と相談づくで、かうしたなりはひに陷つて行くのである。其の筋の目は知るや知らずや、よし知つたとしても、彼等に對する罰は輕い。拘留十日若しくは三十日――彼等はそんな事は何とも思つて居ない。生活難の餘波は怖しい哉。

**本所の無料宿泊所には、此頃約三十名程の泊り人がある。一時景氣のよかつた彼等には、今迄の樣な、襯衣一枚で慄えてゐる樣な者はない。勞働者の中でも一番骨折業をする者は、どうしても一日五十錢の金が無ければ此頃の日は暮せない。先づめし屋へ入つて、三錢の飯を五杯とおかずは、煮しめならば一皿三錢、奮發して魚にすれば、五錢から七錢である。かう計算して見れば、らくな仕事をしてゐる者でも、三十五六錢は要る。一日の賃銀が一人の口を糊するに漸うとすれば、妻や子供は當然飢えねばならぬ。共稼ぎの女の內職で上收入は、メリヤスの緣繰りで一日四十錢、ボタンの內職が三十錢、メリヤス屋の手傳ひが廿五錢位である。して見れば夜の目合はさず稼いだ處で貧乏は追越して行つてしまふ。勞働者の中でも妻子を持つてやつてゆけるのは、石炭かつぎと河岸の荷上げ人夫、或は舟の詰込をする人達である。平均一圓時によると二圓から二圓五十錢の收入がある。併し此勞働は到底弱い者には堪へられない。

**今迄一錢に四切であつた燒芋が、二切になつてしまつた。小さな燒芋の切身が一つ五厘である。彼等にとつて大恐慌である。そして燒芋は彼等の口に入らなくなつた。三錢の芋を食べるよりは、一つ一錢の豆餠を三つ食べた方が、腹を滿たすのにとく

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

である。豆餅を頰張つた後、彼等は宿泊所へ一夜の宿を懇願する。食べるに困る彼等には、酒氣を帶んでる者は近頃認められない。けれども其蟇口の中には十錢位の金は持つてゐる。木賃宿へ行つてそれを拂つてしまへば、翌朝の飯に困る。食べなければ仕事は能ない。十錢は即ち明日のかてを得る資本として、懐に入れたまゝ無料宿泊所の客となるのである。此期間は極めて勞働者の仕事の少ない時である。仕事に困る者は、擧つて地方へ出稼ぎに行く。そして三月四月の花の頃、彼等は再び都入りをするのである。彼等は多く飢と寒氣とで病氣の源をなす。普通の病人は夏に多いけれども彼等の病氣は一月二月の寒さと戰つた後の三四月頃が、一番病人の多い時である。働いて且つ寒さと飢とに勝つ事が能ない。そして憐れな行路病者として、暗い運命にまつはりつかれる―影の様に生活難に呪はれたる社會の人々と、自動車に塵煙を捲きあげ突破する社會の人々と、兩者に生るゝ運命に何等の差が有らうぞ。(佳子)

八

讀者から

▲岩手高畠てう子様から「拜啓 仕候。益々御盛榮に趣かれ候事、不撓不屈の御盡力に依る事と御芽出度き限りに存上候。私事も從來種々婦人に關する雜誌類を取り來り候も、二回三回と號を重ぬるに從ひ何れも內容の何となく物足らぬ樣覺え候て、つゞきたる事未だ曾てこれなく候處、昨年初春、當地へ參りてより、週報拜見いたし居り候て、今日迄引続き候に、紙上何となく力あり、且つ各方面の記事無駄なく、一字も殘すまじと拜讀致し居候中に、其の根底には私共の共鳴申上ぐる信念もあり、猶更ら懐しく、毎週の御發送を待ち詫び居候。先日の御誌に「みちのくの讀者より」として、當地方寒氣の樣子、美しく報道されし方ありしも、話し樣にて同じ事も面白く可笑しく聞かれるやうに、此の頃の寒さも書き方にてあんなに美しく思はれ候にかと存ぜられ候。私などそんな處ではなく、毎日困り居り候。都は昨年十一月頃から雨なく、漸く此の頃少雨ありしとか、新紙上に見へ候に、此方は毎日雪ちらつき、それのみか時々風も吹き捲く、雪さ氷の中に人が活きて居る其處を吹く風、思ふても凍えん斗りに候。鐵瓶、茶碗、肉、野菜、日常の必要品は皆固く氷つて終ひ居候。都を跡に一夜を汽車の中で過せし、翌朝はこんな寒國に來る、是れでも同じ瑞穂の國、其の寒暖の大差あるに驚かれ申候。土着の人もあり、戶數は千八百の一ノ關町に御座候。かういふ所に生れて育つ人は、天然自然の感化か、忍耐強く、落付きある様にて、この點は關東育ちの私共の遠く及ぶ處に御座なく候。宜しく此の美點を學ぶべき事と存じ候。御多忙中くだらぬ事申上げ、御邪魔致し候。末ながら益々御健在に御事業御發展の程を祈り上候。

山家雪

炭がまの烟りは絶えし山里に
ふりし日數の積る雪かな

新刊紹介

□衛生的經濟的最善生活法

三戶玄三氏、秋穗益實兩氏の合著に成る八百頁に餘る大部な書物であります。卷頭には石黑男、田尻、佐藤(進)北里、林(春雄)二木、遠山、和田垣、血脇、金杉、佐伯、高木(兼寛)今、(裕)山內、(附、太郎)諸博士、大隈侯爵等十六大家の補說執筆を掲げて如何にして最善生活の營まるかを說かれて居ります。本編には著者多年の蘊蓄を傾けて、第一編經濟生活と食物營養の研究、第二編無病養生法、第三編食物の改良と家政整理、第四編無藥健康法、第五編安價經濟料理法を詳述し、附錄として經濟生活論、菜食養生法を掲げて居ります。歐米的でなく、日本の日常食品をかく科學的に研究排列されたのは、他に多く類を見ない書物で、從つて生活改善を欲する者の參考となる事は多大でありませう。(神田區駿河臺袋町國民書院定價參圓)

□こほろぎさう(文學士落合太郎氏著)

眞實を、鋭敏に感じ得る子供の、尊い本能を、どこ迄も自由に健康に育てたいとの赤誠から、このおはなしの本は書かれたのです。十四の面白いお話は凡に佛蘭西の書物から譯したもので、何れも著者の親切な撰擇が加はつて居り、すつと先きに水野葉舟氏が其の子女を令妹菊子女史と共に、家庭に於て理想的の教育を施さるゝ由を本誌に掲げた事がありましたが、著者は水野兄妹と共に、この種の叢書を續々出版される由です。よいお話の種子に缺乏して居る日本の家庭にとつて、誠に喜ばしいことです。(定價七十五錢、麴町區有樂町一ノ三、阿蘭陀書房)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（七）個人教育を重んずる 普連土女學校

▲卅有餘年の歴史を持つた普連土女學校は、三田聖坂の丘上に清楚な建築を構へて居ります。門を入つて黄ばんだ芝草の坂を昇り詰めると、左に校舍右に敎師館、そして突當りに寄宿舍が日本造の十五室を有して三十名程の學生を收容して居ります。應接間の床には、まだ蕾の堅い桃の花が、池の坊の格好もよくうすばたの水は滿々とたゝへて居りました。

▲徒に生徒の數のみ多いのは、此學校の主義として選ばないのです。一年生はたつた四十名入れるのみで、更にそれを廿名づゝの二組に分けて、殆ど根本的に、教育方針を誤らぬ樣につとめるといふのが、特徴であります。ですから年代の古るい割合に、卒業生の數は多くはありません。校長は平川正壽先生、其他理事として西洋の方々が多うございます。生ける人格的の神を信頼する人々の集りであります。けれども不思議な事に、此學校の生徒には、ミッションの臭みが認められません。卒業生も殆ど家庭に入つて妻となり母と呼ばれる人が多うございます そして其家庭の多くは、米國支那滿州といふ、海外の方面に散らばつて居ります。

▲「服裝及生活の簡易質素なること」といふ主義に從ひ、生徒は眞面目で皆質素であります 燒けない前の寄宿舍は、食堂は卓椅子附きの洋風をうつしたものでしたが再び造られた現今の寄宿舍は純日本式で生徒等は順當に水仕事やお掃除も致します 隨意科としてピアノ、オルガン、琴、挿花、茶道など、日本娘として知るべき道は一通り開かれてあります。五年間の課程を卒つた者の有志の爲に、家事選科と英語選科とが置かれてあります。なべて此學校の生徒は、英語は滑らかに語る事が能ます。

▲同窓會をいたづらに白粉の塗り比べ會にしたくないといふ點から、極めて意を用ひて居ります。卒業生の一人で非常に幼稚園事業に趣味を持つた人があります。此人のために、多分來年邊りから新しい幼稚園が此校庭に生れる計畫があるのであります。同窓會に伴れ來つた、會員の子供等を集めて、母人の同窓會に可憐なあどけない會合が催されるのであります。

▲もつと〳〵此學校の生徒等が一番樂しみとして居るのは、年一回の文學會であります。それは大抵十一月の菊の頃に開かれます。何れもあらん限りの知慧をしぼり出して、考へあぐむのであります。よせ集めの衣裳を着けたハムレットやチヤンダークが、どんなに美しく高尙に舞臺の上に活躍するでせう。玄人じみたり、お芝居めいたりしない、眞の藝術味があふれ出るのであります。

廣告

常食の代用にもなる
植物ミルク
六回分 拾貳錢
三拾回分 五拾錢
婦人週報社取次

診察時間 自午後一時 至同 九時
細谷ひで子
齒科醫院
四谷區麹町十一丁目十二番地
細谷ひで子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

学齢児童と

家庭の注意

—寧ろ學校への註文多し—

麹町小學校長 土川五郎

□際立つた段階

兒童の小學入學は、其の幼い頭に大きな期待と憂惧とを抱かせる可成り際立つた段階であります。いよ〳〵入學して袴を穿き、鞄を提げて、親に伴れられ、改まつた氣分で登校すると、先づづつと講堂に導かれて、しかつめらしい校長先生のお話がある。それは大抵「大人しくせよ、よく先生の云ふ事を守れ」といふ事であります。きのふ迄は温かい家庭の中に自由に遊び回つて居つた子供、しかも元來活動力の漲つて居る子供を、一定の規律の下に納めて終はうとする今の學校の多くは、著しく兒童にとつては氣の毒な事に思はれます。

□兒童の活動量

私は幼稚園兒童に就て、嘗て其の活動量を計つて見た事がありました。これは歩數計とて、兒童が一つ動けば、針が一つ宛進む仕掛けになつて居る機械によつて、三時間其の活動を計つて見ました。すると一時間平均千五百回で、一回約一尺とすれば、兒童は一時間に約一哩の活動量を發揮する譯であります。これ程の元氣を持つて、家庭に、幼稚園に活動して居た兒童が、小學校に入ると共に、二十分なり三十分なり靜粛を保つて、一定の作業に就くことは、苦痛に違ひありませぬ。

□もつと子供本位に

出來るならば、學校はもつと家庭的の温味と、自由とを持つて、新入兒童を迎へ、先生は親しいもの、學校は樂しいものといふ念を充分に持たせて後、次第に規律的に導き度いと思ひます。その爲めには學校は初め大神樂をしてもよいと思ふ程であるが、それは極端としても、せめて砂場や積み木位の用意をして兒童を迎へたいものであります。そして教師は組として監理の行き屆いた纒つたものとしやうと骨折るよりも、子供本位にして、いかにしたらば兒童が滿足するかを考へたいものであります。そして袴と鞄とを枕許に置いて、明日を待ち詫びつゝ入學した兒童の樂しい夢を、餘り破らぬやうにしたいものであります。その爲めには受持教師はもとより、校長も大に從來の方針と異る態度を持たなければなりません。

□靜座の習慣

兒童の新入學に就ては、以上の如く寧ろ學校に註文する事が多々ありますが、今日直ちに各學校をその主義に改めて貰うといふ事も出來兼ねます。それ故家庭では兒童を學校に入れる用意として、多少の準備をしたいものであります。然し學校は窮屈なもの、先生はこわいものといふ念は、決して持たしてはなりません。學校や先生は自分をよくして貰う處だと信じさせたいものです。そして十五分なり二十分なり、靜坐する習慣をつける爲めに、幾らか規律的に繪を描かしたり、お話をしてやつたりするがよいと思ひます。

□教師への報告

なほ兒童の登校の初めに、親は生れてから家庭に在つた間の、健康狀態や、其の性質の善い方面、惡るい方面を、悉く教師に話をする事を怠つてはならぬと思ひます。よくある事としては眼の惡るい子、耳の遠い子を知らずに、後ろの席に置き、その爲め兒童の成績の結果が、著しく惡かつたりする事は、初め

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

親から一言の注意を受ければ、兒童を苦しめなくても濟むことであります。この頃の家庭は餘程教育に熱心になつて、兩親で學校を參觀して後ちに入れるといふ向も尠くはありません。どうか入學後も學校と家庭とは益々接近し提携して行けるやうにありたいと思ひます。

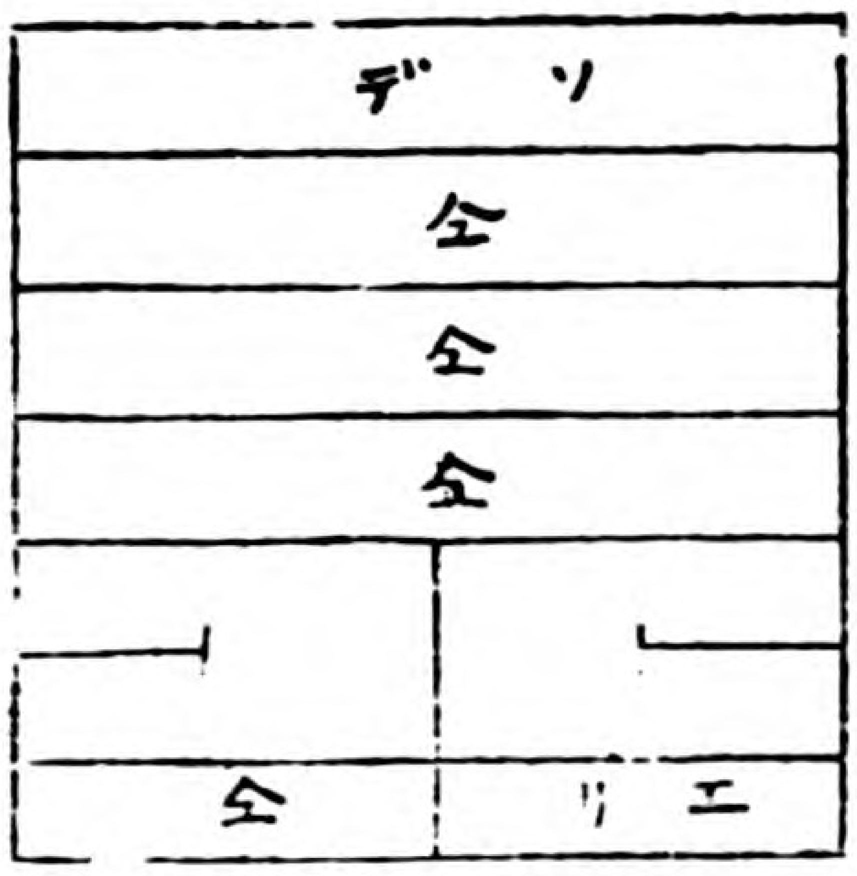
節句の手細工

魔法壜入の碁打人形

大妻技藝學校長　大妻コタカ

□材料

大瓶一個二十五錢、碁盤十八錢
三寸人形二つ三十錢、口栓七錢、
人形の着物二つ分巾七寸七分に



て七寸程、袴並巾六寸五分

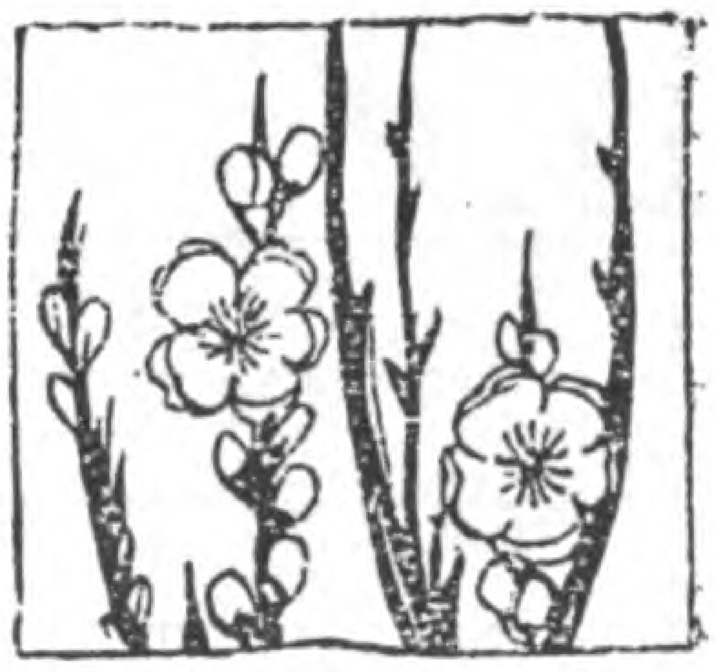
□拵らへ方

▲着物　先づ人形の着物から申し上げませう。巾七寸七分、丈け七寸の布を圖のやうに、袖一寸三分巾四枚、身頃一寸八分巾、衿七分巾にしてかき、身頃と衿とは縱に二つに切ります。身頃は衿肩四分を明けて切ります。縫ひ方は袖口を三分にして、袂に縫ひ、襦袢のふりを重ねて置きます。身頃は背を一分の摘み縫ひにし、脇も裾もつけずに衿を付け、衿巾二分にして裏に折り、綴ぢて置きます。かうして四分の袖付けにして身頃に袖をつけ、肩上げをしますと、半身の着物の脇縫ひのないものが出來上ります。

▲袴　は並巾六寸五分を取り、紐として巾八分に二本長く巾をかいて置きます。殘りの布を縱に二つに切り、袴二着にします。先づ兩端を縫ひ合せ、裾を絎けます。縫ひ目の無い方を後ろにして三つ襞を取り、紐を一ぱいに絎け、後ろ一寸計り紐に縫ひ付けます。これでもう出來上りました。

▲壜に入れる法　碁盤の四隅に穴があります。これに裏から一尺計りの糸を通し、鯨で二寸計り南京玉をさします。別に十字形の糸おさへの四端に絹糸の房をさげます。かうして人形に着物をきせ、袴をつけさせて、頭から二つとも壜に入れて中で向ひ合せにして、膝から折つて置きます。碁盤はかねて三つにくづすやうに出來て居りますからこれをはなし、繼ぎ目の穴に糊を入れ、一つ宛壜に入れて、中で組み立て、人形の手がこの碁盤の上に行く樣にします。それから四隅の糸を引いて碁盤を吊し、十字形の糸おさへを二つにくづして、眞中の穴に糸を通し、中に入れて二つ組み合せ、その上に光り玉を通し、口栓の下部を離しますと、眞中に穴がありますから、其の穴に糸を通し、落ちないやうに糊で糸をしつかりとつけて、栓をします。出來上つた處は圖のやうになります。栓の上は、リボンで結へると奇麗です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



桃の節句に因む 會席料理

久野連峯

□献立

向　たら貝二杯酢、千わさび
汁　根芋、摘み菜
椀盛　吉野魚、織部豆腐、ミツ葉
燒物　相並てりやき
香物　澤庵漬
吸物　蕨、短冊うど
八寸　割もゝ　つくし甘煮
（白酒、飯、湯の子）
蒸菓子　雛餅
中立
乾菓子　あられ桃
御濃茶

□向の拵へ方　たら貝の腸を去り、よく洗ひ、星計りにして小口より薄く切つて、鹽をばら〳〵と少しふり、酢に附けて置きます。凡十分間後出して器に盛り、酢と砂糖との二杯酢をかけます。一方に山葵を洗ひ、皮を去り、細く線に切りて上に置きます。

□汁の拵へ方　鰹節汁にて味噌をこき、煮え立たせ、其中へ根芋と摘み菜とを細く切つて入れます。總べて味噌類の物には、砂糖を少し入れますと、味がよろしうございます。

□椀盛の拵へ方　鯛の身を一寸角位に切り、鹽を少しふり、吉野くずにて丸め庖丁の柄で打ち附けます。一方に湯の煮え立ちたる中へ入れて茹で上げて笊に揚げ置きます。

織部豆腐とは豆腐を細長く二分厚さに切り、玉子燒か或はフライ鍋にてよろしいから、胡麻の油を敷いて、兩面とも燒きて冷水に入れます。

ミツ葉はざつと茹で、冷水に移し、根を揃へて絞り上げ、一寸二三分の長さに切つて置きます。

一方に鰹節汁の粕を去り、煮え立ちたる中へ味の素を少々加へ、醬油、食鹽で味を附け、器へ前の三種を入れて、それにお汁を入れて供します。

□香物の拵へ方　之は大根の澤庵漬と申して、四斗樽に付鹽四升糠六升位の割合にて漬け込みますが、長く持たす程鹽の分量を多くするのであります。尚詳しい事は一度漬物類一式で申上げたいと思ひます。

此は地方としては小口切、半月切、富士山切、あられ切、柏子切等隨意に切つて下さい、

□燒物の拵へ方　相並のうろこや頭を取り、三枚に上げ、骨を去り、金串に差し、文火にて燒きます。燒け上つたならば、てり汁をかけ、あぶつて復てり汁をかけること二度にして、臺に上げ、二本共金串をよくまはしてから拔き取ります。

注意　魚は皮の方から燒き始め、返して身の方を燒きます。なぜならば皮の方が燒き縮が早いからであります。尚てり燒は身の方を上にして器にもり、鹽燒の方は皮の方を上にした方が體裁がよろしい。

□吸物の拵へ方　前の椀盛の如く鰹節汁を拵へて置きます。一方に炭酸を少々入れて湯を煮え立たせ其中へ蕨を入れて茹でます。直に冷水に移しますと、灰汁がとれて柔らかくなり、色がよく上りま

十二

お化粧問答

問　お正月に餘り濃化粧をしましたせいか肌が荒れて困つて居ります、療法を。（芝　きみ子）

答　大分お顔や手足の荒れる爲め此頃になりますと、お困りの方が澤山ございますやうですが、度々申上げた通り平素肌を、大切にし、寒さを恐れぬやうに、なさらねばなりません。それには朝クラブ洗粉で御洗面の後、直に一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームをお顔や手足に擦込んで置きますので、斯様な簡單な方法で絶對に荒れを防ぐ事が出來るのですから常にお忘れないやうに、此方法をお勸め致します。尚お寢みになる前、幾分か多い加減に右のクラブ美身クリームをお塗りになつてお寢みになればお顏も手足も、荒れるやうな事は決してございません。

問　一番手早く出來るお化粧法をお教へ下さいませ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。別にうどの皮をむき、短冊に切り水に入れて置きます。鰹節汁を煮え立たせ、味の素を少し加へ、醤油、食鹽にて味をつけ、蕨、短冊うどを入れて器に盛ります。

□八寸の拵へ方　胡桃とは前年に拵へました罐詰を用ひまして、桃を縦に二つに割り、種を出して置き、一方に水五合に砂糖一片を入れて煮え立たせ、冷して置き、其中へ胡桃を漬て置きます。土筆のハカマを去り、長いのは二つに切り、よく水洗して水氣を去り、焙烙にて濕氣を抜く爲、柔かくなる迄いります。直に一方に味淋、醤油、砂糖で味を附けます。

（白酒、飯、湯の子）

蒸菓子が出ますと之を相圖に中立と云つて、一時待合所へ歸りまして、鐘の相圖で又席入をしまして、お濃茶となり、春釜のたぎりて趣深き茶の點前にうつるのであります。

＊　＊　＊

＊　＊　＊

＊　＊　＊

雛店のぞき

―節句近い昨今の賑ひ―

▲綺羅びやかな雛の祭が近づいた、十軒店の雛の店は、早くも荷を解いて店の飾りを終つた。眞白い木の箱の中に、今にも笑みさうな姫の綾の衣の匂ひやかな、五郎十郎の勇ましいのや、高砂の爺婆のにこやかさ、いつ見ても、雛は好ましい美しいものである。雛の町を通過すると三越の前へ來る。二頭のライオンが、太い前足をかまへて、押し合ふ人波を睨まへて居る。オーケストラが醉ふ様な音を群衆の中へ漂はせる。赤や青や強烈な色彩は、入り來る人の眼を吸ひつける様にそゝる。三階四階へと昇降器は客を運んで來る。

▲五階は雛客で一杯に滿ちてゐる、美しい魂の持ち主の様に、雛は高い段の上に並んでゐる。お雛様！雛買ふ客はから尊稱しながら詰めかけて來る。左端の紫宸殿から人形調度一式で四百七十圓を筆頭に、雛の店は展開されて行く。お伽人形の可愛いこと、舌切雀の正直爺さんの顔が眞にせまつてゐる。豆人形の見事さ、細工の精巧なること、ちまくとした豆雛の一揃へは不斷にでもほしい様である、代價は十圓六十錢としてある。木目込の變り人形、娘道成寺などほんとに味がある、十八圓三十錢の札が娘の頸から下つて見えた。鼻の低い享保雛、寛永雛など、それくに足を止めしめる。

▲昔ながらの五人囃や官女など相當に賣れて、客の腕に抱かれて歸つて行く。壯麗な紫宸殿の奥深く、御簾の陰の内裡雛を始めとし、人形一揃調度雛段一切で三百十圓といふ、其前方には人だかりがして、美しさを褒めたゝへてゐた。もつと廉いところで、一式一揃へで五十圓からあつた。

答　お化粧をなさるには、其前に生地を整へるため、手水をお使ひになるのが普通ですが、其時間もないと云ふ大急ぎの場合には、近頃發見され大好評を博して居りまする、中山化學工業所新發賣の化粧用化酸過水素水を脱脂綿に含ませ、之でお顔をお拭きになりますと、肌の垢も、脂肪も面白いやうに取れまして、而もお顔の色は不思議と白くなる効果を持つて居ります、（但し此際眉毛や睫毛や髪の毛に過酸化水素水が付かぬやう御注意なさらなければなりません）次に一番よくきくブレ止め兼用の化粧下クラブ美身クリームの少量をムラなくよく擦込み其上をハンケチかタオルで輕くおさへ、それから清楚な高尚な神彩を現はすクラブ水白粉で平常のやうにお化粧をなさいますれば僅か二三分で立派なお化粧が出來上ります。

（本郷　芳子）

十三

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

青い花の國

(六)

幾美子

山の下の憐れな人達が、
「どうしたんでせう？此頃山の方から何んだか大變いゝ香がして來ますね。」
「あたしもさう思つてゐましたよ、ほんとにどうしたんでせう？」
「まさかいゝ香だと思はして置いて、眠り藥ぢやないでせうね。」
「だけれどヒョッとしたらさうかも知れませんよ、そして私達の知らない中に、鏖しにして了ふといふのかも知れませんよ。」
と憐れないぢけた人達は、矢張り惡い方に計り考へてゐましたが、何時迄經つても別に何んともありませんでしたので、しまひには匂つて來て呉れゝばいゝがと、鼻をうごめかして待つやうになりました。

王は每年々々この種子を集めては、壺の中へ蓄へて置きました。そして日に日に賢く成つて來て、一目チラリと見れば向ふの人の心の奥まで、すつかり解つて了ふ程でした。それに、力も大層強くつて、鐵の棒を手で二つに折つて了ふ程でした。

それは丁度王が廿歲に成つたある日の事でした。仙人は望遠鏡を王に渡し乍ら、
「若樣、今下の都で何してゐるか御覽なされまし。」と申しました。

望遠鏡を手にした王は一生懸命に見てゐましたが、やがて、
「あら何んですか、大勢人が集まつてゐますね、旗だの吹流だのが澤山靡いてゐます。そして凱旋門のやうなものも見えます。まるで何か御祝の式の用意でもしてるやうです。」
と返事をしましたので、
「さう／＼さうでせう。皆は若樣の御即位式の爲めに、あゝして旗だの吹流だのを立てゝ御支度をしてるのでございます。明日から若樣は山の下のお國へ行つて、王樣におなりになるのでございます。若樣あなたは此處で今迄いろ／＼の兄弟と一緒におゐでになつた時と同じやうな氣持で、山の下の人民等をお教へなさいませ。山の下には美しく無いものや、汚れたものが澤山ございませう。けれども何時もあなたは頭を高く擡げて、決して御太陽樣や風や星をお忘でないやうに。」と云ひ終へた仙人は、王が默まつて考へてるやうな樣子を見て、
「この御方が山の下の人達の前にお立ちになつたらば、あれ達は何んていふだらう？キットと若い神樣が天降つたと云ふ事だらう。」と獨言をいひました。

あくる朝になると、立派な行列が旗や吹流などを閃めかせて、金や銀の喇叭の音に足踏合せながら、お城の方へと堂々と乘り込んで來ました。入口の石段の上に王と並んで立つて居た仙人は、
「人々よ、これが汝等の王である。」と厳かに云ひ放ちました。
それを聞いた人々は一目見るなり、後退りして恐れのあまり喉がピッタリついて了ひまし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。やがて王は金の飾具の澤山ついた馬に跨がつて、仙人と一緒に、山の下の王國を指して行きました。即位式場に着く迄の道には立派に飾り附けのしてあつた家も可成ありましたが、王はそれ等には大して目も着けずに、却つて汚ない通りや、打壞れた店屋などに氣をつけて行きました。

「やーー大變だ！大變だ！—

「早く逃げろ……」と足の早い子供達は、穴のやうな汚ない家の中へ、鼠のやうに駈け込むで了ひました。そして足の弱い子供や年寄は自分達の傍にある木の影や、芥溜の影などに、コソ〳〵と隠れて了ひました。

* * *

即位式が濟むでから幾日か經ちますと、新王か人民等と一所に、町外れの野原で宴を張るといふ御布告が出ました

その日が來ますと、いぢけた人民等は、

「さあ大變・いよ〳〵吾々の地獄が來たんだ！—

「あゝ眞當に吾々は今日野原へ行けば、歸へりの命は危いものだ。」

「全くよ、これが此世の見納めかも知れない。やつと先の王樣が死んで了まつて樂が出來たかとおもや、又、初まるんだ。」

「ウン王樣つてものは、吾々をいぢめるのが樂しみなんだらうよ。」

とこんな事を云ひながら、人々は屠所へ曳かれて行く牛のやうに、震へながらグッ〳〵歩いて行きました。すると、

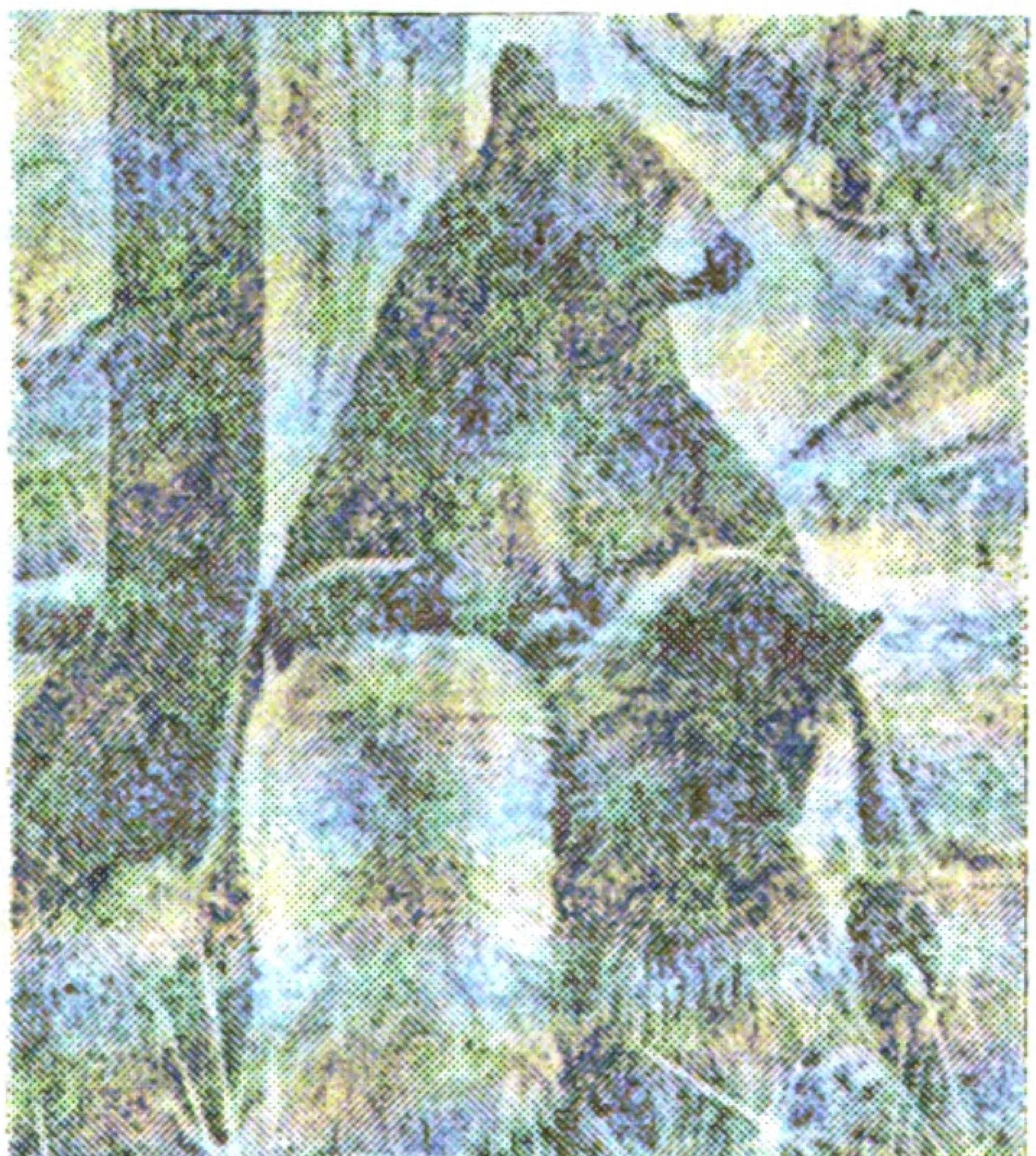
「そんないやな事を考へる時は無い、早く行かう！—

とそれは涼しい高い聲がしましたので、人々は思はず立ち止まつて、何者の聲かしらんとあやしみました。

皆の集まつたのを見て、王は立派な椅子から離れて人民等の前に直立しました。その樣子は山の塔で仙人と一所に星を見詰めてた時のやうに、その美しさといつたらまるで天使のやうでした。やがて王は聲高々に法文を讀みあげました。その聲は又不思議な位よく透き通つて、群からずつと離れて隅つこに蹲まつて居た小さい跛子にまで、殘らず聞き取れる程でした。

熊の親子

米國の深山で撮つた寫眞



これは米國の有名な寫眞家へーネス氏が、或る深山にわけ入つて、野生の熊の親子を寫したもので、寫眞界稀れに見る出來榮えと云はれて居ります。氏はこの寫眞を撮るには、生命がけであつたでせうか、そのおかげで、私共は猛獸と云はれて居る恐ろしい熊にも、こんなやさしい、温かい處があるかといふ面白い場を見せて貰へます。深山の眞冬の寒さに凍えさうな風が吹いて居りませう。今しも母親は杉木立の大枝小枝が天然の屋根を設けた下に、軟かな枯草の床を設け、大木の幹を背にして、のどかな氣分になつて、二つの子熊に乳を含ませて居ります。其の柔和な顏と母らしい樣子とは、いかに愛すべきではありませんか。

* * *

十五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手紙（八）

渡邊だみ子

「私ね、御嫂様、あの人知つてますよ。」
「え？、あの方を？　あの林さんを？」
「え丶、」
「どうして御存じ？」
「學校の往來によく逢ふ方よ、たゞそれ丈ですの」
「さう、道理で何だかちつと變だと思つたわ。」
暫く考へて居た嫂は、やがて眞面目な態度で、
「園子さん、貴女は今隨分大切な身體ですからね、これでも私、餘程責任が重いと思つてるのよ。何卒ね、これから先き、宅に居る間は、どんな事でも私に話して頂戴よ。」
「え丶、今までだつて私、御嫂様には何でも申上げて居る積りよ。」
と口では云ひましたけれど、一寸氣が咎める事のないでもありませんでした。別に故意と物を秘密にして居るのではないけれど思ふ事、感ずる事が多くて、それを發表する事の下手な、うまれつき無口な私は、自分の周圍に起つた事や、心に浮ぶいろ〳〵の事を洗ひざらひ喋べつて仕舞ふと云ふ事は、かなりの努力を要する事で御座いました。云ひ度いと思ふ事を六分か七分ほど云つて、あとは默つて居ても分りさうなものだと云ふやうな氣がするのでした。殊に親しいもの同志の間では、わざ〳〵口を借りなくても靈と靈との交通によつてお互の心持はよく分らねばならぬ筈だなぞと考へて居るのでした。ですから、今嫂に、何でも云ふて居る積りだと申しましたけれど、よく考へて見れば云はない事も澤山あるのです。たとへば今の話題の林さんの事なども其の一つなのです
何時の頃から逢ひ初めたのか判然とは覺えませんが、學校へ通ふ途で折々行き逢ふ事がよくありました。御承知の通り學生町とも云ふべき彼の界隈の事ですから、同じ時刻に同じ場所で摺れちがふ學生は幾人あるか知れませんが、此方から平氣で其人等の顏をじろ〳〵見ながら歩くほどの無邪氣者でもありませんし、又よし見る事があるとしても、一々覺えては居ないので御座いますけれど、林さんだけはどうしても記憶に留まらない譯に參りませんでした。
それは恰度歌舞伎座で上方一の名優の十八番だと云ふ天の網島の紙治を見た翌日でした。物心ついてから始めて芝居と云ふものを見せて貰つた私は、もとより其藝を鑑賞するなど云ふ事は出來ませんし、從つて批評眼なぞは少しも持つて居なかつたのです。
拔ける程眞白に白粉を塗つた細面の、昔の江戸錦繪にある役者其のまゝの顏した治兵衛は、只意氣地のない、理性のない下らない男だと思ひました。こんな詰らないにやけ男に生命までもと戀をする小春の氣も知れないし、あだし女に迷つて妻も子も、家も其の身も忘れ果てた良人を反省させて正しい道に引き戻さうとはせずに、却つて藝者を身受けさせやうとする女房などは本當に不見識ないやしい女だ、あんな女があるから男の人はいゝ氣になつて益々墮落するのだと思ふと、いつそ腹が立つて、涙を流して居る觀客まで憎らしい様な氣がするのでした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全くこんな小娘にかゝつては駄目林子の傑作も何も滅茶々々で御座いますわ。

其のにやけ男の治兵衛そつくりだと思つて、ふと摺れちがつた林さんに眼を留めたので御座いました。黒八丈の襦袢の衿をきちんと合せた中から、すつと長く延びた首の白さ、振り返つて見ると、三つ衿の衿足が際立つて美しく見えるのでした。

其の翌くる日も同じ邊で逢ひました。私の性癖は此の學生に、町人風の髷を結はせ、唐棧の縞の着物に角帶締めさせて、立派に俳優化して仕舞ひました。

魂拔けて呆然と、草履の脱げたのも知らぬ花道の治兵衛を其人の上に見るやうな氣がしました。あんな人は乾度小春のやうな藝者でも見付け出して情死するであらう。あんな男から擇ばれて情死の相手を仰せ付けられる小春こそいゝ迷惑だなどゝ、聯想はそれからそれへと擴がつて行くのでした。

それが即ち林さんなので御座います。

其後林さんは幾度となく宅へ參りました。

米屋、薪屋、八百屋、魚屋、皆一々宅へ來て相談の上定めるのです。國からよこしたと云ふては野菜物など婆やに持たせてよこし、長崎から貰つたカステラだとか、散歩の序でに買つて來た與兵衛壽司だとか、何とか彼とか云ふては色々のもの持つて來られます。從がつて此方からも手製のお萩や、到來物のお福分けなどしなければならないのです。斯うして隣同志の往來は頻繁にされるのでしたが、嫂は決して彼の人を應接間と座敷以外には通しませんでした。又自身でも私でも一人だけで應接すると云ふ事も御座いませんでした。

それなのに彼の人は學校の往來よく道連れになりました。お琴や茶の湯のお稽古で歸り路が日暮れにかゝる折などは、定まつた樣に何處からともなく出て來て、護衛兵の樣な態度で一緒に歩いて來るのです。

西洋の小說や詩の話は流暢な言葉でよく聞かされました。燃えるやうな戀物語り、熱烈な愛の詩などは殊に力を籠めて話すのです。

火のやうな、蛇の吐く舌のやうな西洋小說にある戀と云ふものは私にはたゞ恐ろしく思れました。執念深い男女の戀に狂ふ有樣は思つて見るさへ胸が惡い、さうかと云つて源氏物語や伊勢物語の、添ひぶし、手枕と云ふ事より外に意義のないやうな日本の戀もいやでした。

最初直覺した感じはたがはず林さんは矢張り紙治型の男でした。さうして其の相手に撰ばれた小春の役は圖に振り當てられたので御座いました。

聾のやうに啞のやうに、默して通す事より外に道を知らない私は、いつでも默つて居るばかり。嫂に告げやう、告げやうと思ひながらも恥かしいと云ふ念に障げられて打ち開ける勇氣を持たないので、たゞ道連れになる機會を避ける事につとめました。

自分の心さへ動かなければ、暴力を用ゐられない限り誘惑と云ふものは決して恐るゝに足らぬと信じて居ましたが、同時に無意識に、豫期せずに人を誘惑したと云ふ事を免れない自分自身の罪を、どう取り扱つてよいかと云ふ事はかなりの大問題なので御座いました。

噂

▲獨唱家の花形として其の名を知られたる柳兼子女史は、有名な健啖家で、學生の頃、滿足に七本のバナヽを見る〳〵平らげて、た人を驚かせました。▲それから數年を經て、人妻となり母となられた今日も、なほ心地よい程召し上がるので、「成る程、あのよい大きな聲は、あゝした健全な消化機がなくては」と、眞面目に感心して居る人があります。▲曾て三浦環女史が獨唱家として發達する人は、寧ろ平らな感情を持つた人であると申された事がありましたが、柳女史なども確かに其の一人であります。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口明治帝、后の御銅像　曩に田中光顯伯より奉獻されたる明治大帝の等身大立像の銅像は、目下宮中禁苑の塵裡に納められて居りますが、土方伯より奉獻さるゝ限定の昭憲皇太后陛下の御銅像は目下鑄金大家岡崎雪聲氏の手に原型を謹作中の由にて本年末に〻全〻竣成の見込みでありますが、尙ほ愈々竣成の曉には國民一般の拜觀に適する樣との思召にて、青山なる明治神宮外苑內に奉安さるべしとの事であります。

◉不信任案否決さる　寺內內閣は政黨に基礎を有せず、憲法政治の本義に悖るとの理由に依り前議會に不信任案を提出せし政友、國民兩黨の反對に會し、一敗したる憲政會は、第四十議會に於ても不信任決議案を二月十四日の議場に提出しました。其理由とする所は、現內閣は立憲の本義に背悖するのみならず、成立以來一年有半を閱するも、何等政治成績の見るべきものなく、外に對支外交の失敗あり、內に財政計畫の蹂躪せらるゝ等の事實より、千載一遇の時局を托するに足らぬといふのであります。然し乍ら政友會は此際政變の來るを望まず、國民黨は現內閣擁護者の地位にありますので、憲政會の武富時敏、尾崎行雄氏等の熱辯も大勢を動かし難く、議會は大多數の差を以て遂に此の決議案を否決しました。

◉米國の輸出入制限　米國大統領は二月十五日布告を發し、十六日以後の外國貿易は、輸出入共政府の特許を要する事となりました。是が爲め我國の對米貿易は大打擊を受けるであらうと一寸非常に市況を沈靜させましたが、割合に制限の程度緩かなる如く、稍々安堵の狀態にあります。

◉廢后遂に狂す　近着米國新聞に載せられたるアムステルダム來電に依れば、西比利亞トボルスク幽閉中の露國前皇后は、一月中旬以來精神に異狀を呈したので、同地精神病院の一室に監禁され遂に發狂狀態に陷り、恢復の見込みが無いと傳へられます。

戰爭と各國

▲講和會議終了す　露國過激派政府と獨墺兩國との間に交涉されてゐたブレスト、リトウスクの講和會議は終了しました。露國は獨逸の併合主義者の講和條約に調印する能はずと稱して居ります。然し乍ら彼等は獨墺の勞働者と戰ひを續けるに忍びないからとて、戰線の全兵隊を撤退するといふ事です。

▲西比利亞の危機　西比利亞に散在してゐた西比利亞の獨墺俘虜約十五萬人は、諸所に結社團結して氣脈を通うじ、重大事件を惹起する兆候漸く著しく、其手先は既に北滿洲にまで入込んだ樣子であると申します。

▲「日本の危機」迫る　英米佛等聯合國側の新聞紙は、露國政府の獨墺に鬪志無き今日、獨逸勢力は西比利亞、波斯灣等に及ぶべく、日本は大なる壓迫を感ずるであらうと謂ひ、連りに日本の積極的態度に出でん事を望んで居ります。之は單に聯合國が日本を動かさん爲めの口實とのみ見るべきものではありますまい。西比利亞の模樣や何かを思ひ合せると、我日本帝國は刻々今迄よりも更に〳〵大いなる覺悟を要する地位に進みつゝあるのではありませんか。

◉押川長官の自殺　製鐵所長官貴族院議員押川則吉氏は、本月十八日午前八時、家族の留守中縊死を遂げられました。氏は過日の議會にて仲小路農相との間に意見の相違を來したので十三日辭表を呈出して以來、大崎の自宅に引籠り中でありましたから、所謂鋼片問題に關して自殺したのであらうと想像されますけれど、實は目下豫審に附せられてゐる某重大疑獄に關してゞあると傳へられます。それかあらぬか、八幡製鐵所員は、長官の自殺を聞いて大恐慌を來してゐるとの事です。押川氏は農科大學出身で、一時は農商務大臣の候補者に數へられた事のある前途有爲の士でした。行年五十七、遺族には夫人愛子(四十)嗣子一郎(二十)二女豐子(十九)三女年子(十七)があります。

◉野口博士歸朝せむ　北里研究所長北里柴三郎博士は今度慶應義塾醫科大學長になりますので其後任として世界に名高き野口英世博士を招かんと目下交涉中であるとの事です。野口博士は健康上適當の時機に歸朝したい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

との希望を有つてゐられ、且つ北研とは以前の關係もあるから多分承諾して歸朝されるであらうとの事です。

◉**千里眼暗擊さる** 福來博士の引立を受け居る千里眼能力者、神戸市中山通り三田光一（三十）は二月十日上京、本鄕の下宿屋に宿つて居りましたが十四日夜十時頃大學赤門前を通行中、雪降る暗中より何者か現はれ、石にて後頭部を亂打され、人事不省に陷りました。

◉**姉崎博士の渡米** 文學博士姉崎正治氏は十四日附米國出張を仰付かりましたが、右は三月十八日より二十三日迄米國キャルホルニヤ大學創立五十年祭の開催されるに臨む爲めでありまして、博士は我が帝國大學を代表して赴かれるのであります。

◉**福島大將の全國遊說** 大正三四兩年愛馬寶弓號に鞭つて諸國を講演旅行した福島保正大將は本年四月より八回に亘り全國遊說を爲すとの事であります。

◉**汕頭の大震災** 十二日午後二時八分支那廣東州汕頭に未曾有の大地震起り全市街の家屋に倒潰し、十四日正午まで震動繼續しました。爲めに死傷したる者二千餘名に上ると傳へられます。

◉**立憲舊友幽明會法要** 十七日午前十時より鶴見總持寺にて立憲舊友幽明會主催の憲政の志士三千餘名の大法要がありました。河野廣中、原敬、板垣伯等舊自由黨の諸氏出席、亡友の爲め盛んなる法要を營み、且つ憲政の追憶を語り合ひました。

◉**物價調節と市參事會** 十五日の市參事會にて物價調節方法研究の提議出で、全員之が委員となり、十八日第一回研究會を開きました。

◉**東京驛萬世橋間開通期** 東京驛より萬世橋に連絡すべき高架鐵道線路は、一昨年一月起工以來、工事順當に進み、來る九月には全く竣成し直ちに電車の開通を見るでありませう。兩驛間には新たに鍛冶町停車場が設けられる筈です。

◉**天然痘發生す** 東京本鄕駒込方面に數名の天然痘患者發生し芝方面及び小石川方面にも一名宛の新患者が現はれました。種痘の勵行を望まれます。

◉**魚市場の移轉問題** 豫てより懸案となつて居る日本橋魚市場移轉問題に關し、警視廳當局者は速に移轉をせよとの注意を當業者に與へましたので、問題は再燃しました。多分芝浦移轉の事に決定するでありませう。

◉**成瀨仁藏氏快癒** 十二月四日チブスで赤十字病院に入院したる日本女子大學校々長成瀨仁藏氏は、十八日全快退院、越えて廿日國府津森村男の別莊に轉地療養に赴かれ、約一ヶ月滯在の筈。

◉**新女子大學生徒募集** 目下設立認可稟請中なる東京女子大學は、七十五名の生徒募集中。詳細は假事務所なる東京市小石川區大塚坂下町百三番地安井哲子氏方に郵券二錢を添へて申込めば、規則書を送らるべしと。

◉**日本語教授法講習會** 本年一月第一回を催したる同會は、第二回を講師牛込區市ヶ谷田町廿二松宮彌平氏方に來る二日より毎週土曜午後二時より開催、十五回を以て完了の筈、講習料は金拾圓。

編輯室より

▲大塚坂下町に安井哲子女史をお訪ねした記者は、とある交番で、道を尋ねました。巡査は「何にする方です。隨分澤山その人が訪ねますよ」と。「下自ら蹊を成す」との感を抱いて、畑の間に開かれた細い長い道を辿つて行きました。▲十八日は終日四十一度を昇らぬ程の寒さでした。雪もよひの空でありながら、さう〱また降らずに終ひました。雨も雪もない今年は、八百屋の店まで青い物の影が殆ど見られなくなりました。たま〱あつても、枯れ葉混りの小さい菜の束が、十八錢だなど、驚ろく値を出して居ります。のどかな春雨が早く來ればよいと人々は待つて居ります。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料で申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表

△壹部	金五錢（郵稅共）
△一ヶ月（四部又は五部）	金二十錢
△三ヶ月（十三部）	金六拾錢
△半年（廿六部）	金壹圓拾錢
△一年	金貳圓廿錢
△外國一年分	金參圓

廣告料

△特等（表紙の二、四）	金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）	金廿五圓
△貳等（色紙の表側）	金廿貳圓
△參等（色紙の內側）	金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行 印刷人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所 福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地（市ヶ谷見附內）
電番六二五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝 但祭日及日曜及土曜の他

南湖院

大黑天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分を含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮內省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にしては英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す火金曜午後一時より二時迄特別會話の組あり月謝金二圓（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立 櫻井女塾
本郷區彌生町三番地（電話小石川二六九一番）

耳鼻咽喉科專門

（入院隨時）
院長 耳鼻咽喉科 大野醫院
大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。
一、期間 自毎月十六日至翌月十五日月水金午後二時より四時迄。
一、講習科 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

產科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代
東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京一二二三一番）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本女子大學校（東京小石川）

●家政・國文・英文・師範家政 各學部
●師範家政學部卒業生は家事科中等教員無試驗檢定の特典あり
●高等女學校第一學年・小學校女子・幼稚園男女
●願書三月廿五日迄（定員に充たざれば四月以後も受付く）●入學試驗四月四日●規則郵券二錢

シンガー裁縫院 生徒募集

●和洋服刺繡（東京有樂町一ノ五）
●ミシン專修
●毎月五日迄入學

生徒募集

家政部（四月又ハ九月入學ヲ許ス）
裁縫部、手藝部、實業部
土曜日曜部、手藝講習部
（以上各部共毎月入學ヲ許ス）

個人教授

詳細郵券三錢要ス

東京市麹町區上六番町七

私立 大妻技藝學校

電話番町一二二〇番
振替東京三一六〇九番

當店の特色

御召 織式 縞染
△古手物モ新規同樣ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
（玉川電車道西郷邸前）

百足屋染物店

平田孫太郎

自宅獨習生徒募集

和服裁縫科
小物及細工物科
洋服裁縫科
袋物科

■國民道徳 ■教育學
■裁縫教授法 ■洗濯色染
▲檢定試驗問題解 ▲質疑應答等

■裁縫だつて學校で敎へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業と同樣の實力を充分に授く。■小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初歩より高等裁縫迄敎授す。■完結の後は各科別に綴れば、それ〴〵立派な書物となり、常に机上にありて敎導す。■良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を頼りに勉強し、教科書無しに地理や歴史を習ふ樣な不便がなくなる。

共立女子職業學校教師 數氏及大家博士 文部省檢定委員 執筆

和洋裁縫講習録

卒業一ケ年
月謝僅に卅五錢
三ケ月一圓・一年三圓六十錢
（美本毎號百六十頁）

內容見本附規則郵券貳錢送れ

教育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路

日本裁縫教育會

電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA